

* 柔和な者

イエス様が5章5節で語られている柔和という言葉は、旧約聖書の詩篇37篇を念頭において語られたと言われています。詩篇37篇を読むと、聖書が示す柔和な人ってというのは、主により頼みつつ、主を待ち望む人のことを言っています。それは、神様が確かに生きて働いておられて、神様が約束してくださったその約束が、その通りになると信じ、神様に従う人。つまり柔和とは、神様に対する信仰の態度だということができます。自分がどのように取り扱われても、憤るようなことがあっても、自分で結論を出さず、裁きを下さず、その神様への信頼ゆえに、忍耐を持って、すべてのことを受け入れるという姿勢です。

* 柔和をくださる主

柔和でない人は、腹を立てたり、怒りと妬み、憤りを持っている。人と敵対し、悪巧みを図り、時に殺意さえ抱く人。そういう人は悪の道を行く人であると言われています。私たちは柔和さを求める前に私たち自身のうちにある怒りに向き合う必要があります。神様を捨てて、みことばを捨てて、自分の思いのままに生きる瞬間が私たちにはあります。しかし私たちは、神様との交わりの中で柔和な者とされていきます。神様の働きを知り、みことばを知ることによって、祈りによって、私たちは作り変えられていきます。

* 地を受け継ぐ幸い

私たちのうちにキリストの柔和が造られていく時、そこには神様から与えられる御国の領域が広がっていきます。神様の愛と平和が溢れる地です。そしてそれは私たちのうちの変化だけではなくて、この地上が私たちの持つ柔和を通して変えられていくということにもつながっていきます。この地に託された私たちも柔和を持って、託された地を治めていく。武力による恐怖の支配でない、神様による愛の支配です。天の御国の喜びが、そこ場所に広がっていきます。柔和は、自分のためだけにあるのではなく、人のために備えるべきものだということです。私たちが愛を持って、人と関わり続ける、人のために祈る。天の御国の民として柔和な態度で持って、言葉を交わしていく。家族の間で、夫婦で、職場で、学校で。そしてこの教会で。私たちの関わる全ての場所において神様の愛に生きる喜びが伝わっていく。私たちが遣わされている地において、神様から受け継がれた、託されたその地において、神様のすばらしい祝福を広めていく者とされたいと願います。